

令和 6 年度 事業報告及び事業報告附属明細書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人志木市社会福祉協議会

目 次

令和6年度事業報告	-----	1
事業報告附属明細書	-----	3
〈地域福祉課〉		
1 法人運営	-----	3
2 地域福祉	-----	6
3 法人後見事業	-----	6
4 基幹福祉相談センター	-----	11
〈長寿えがお課〉		
5 居宅介護支援事業	-----	13
6 訪問介護事業	-----	15
7 地域包括支援センター	-----	17
〈ふれあい交流課〉		
8 志木市総合福祉センター	-----	21
9 宗岡第二公民館	-----	23
10 志木市福祉センター	-----	25
11 志木市第二福祉センター	-----	25
12 障がい者通所施設（生活介護）	-----	30
13 障がい者通所施設（就労継続支援B型）	-----	30
14 地域活動支援センター	-----	34
〈こども未来課〉		
15 志木市児童センター	-----	36
16 宗岡子育て支援センター	-----	36
17 放課後子ども教室・学童保育クラブ	-----	39

令和6年度 事業報告

1 総括

近年、少子高齢化や核家族化など様々な社会状況の変化を背景に福祉ニーズは、多様化し、制度の狭間の問題や複合的で複雑な福祉課題を持つ世帯など、これまでの公的な福祉サービスだけでは対応しきれないケースが見受けられようになってきました。

また、長期に渡るコロナ禍を経て、人と人とのつながりが希薄化し、社会的孤立は一層深刻さを増し、住民の社会参加やボランティア活動、助け合い、支え合いなどの地域活動にも大きな影響を与えております。とくに、外出自粛などによる高齢者等の虚弱化の進行や社会的孤立などの生活課題に対応することが求められている状況です。

こうした中、本会では、市民の皆様からの生活上のあらゆる相談に応じるほか、ボランティアの育成、介護予防への取り組み、地域の福祉組織の活動支援や福祉教育などを通じ住民相互の助け合い、支え合いによる福祉のまちづくりを進めてまいりました。

また、今年度は、第5次志木市地域活動計画が最終年度となることから、志木市が策定する「第5期志木市地域福祉計画」の理念や仕組みづくりの基、地域の特性や課題を踏まえた「第6次志木市地域福祉活動計画」の策定を進めてまいりました。今後は、基本理念に「みんなで地域をともに創り、安心して暮らせる、誰もが輝くまちの実現」を掲げ、地域住民が主体となった具体的な取組を展開していくこととなります。

令和6年度の事業運営については、本会の経営理念に掲げる「地域に根ざした総合的な支援体制の実現」に向かって、推進できるよう事業展開をするとともに、本会のPRに努め、運営基盤の強化・充実、財政基盤の安定、職員の資質の向上を図ってまいりました。

とくに、「つながり」の再構築を目指してボランティア活動や地域福祉活動を推進するとともに、各事業所においては、福祉サービスの適切な提供に努め「地域共生社会」の実現に向けた様々な取り組みを実施しました。

2 重点的な取り組みについて

(1) 地域福祉活動

地域のサロン活動など小地域を基盤とした福祉活動を支援し、福祉コミュニティの形成を促進しました。また、全世代に対する社会福祉協議会の活動の情報提供を積極的に行うため、事業の「ショート動画」を作成しSNSで配信するなどIT環境を活用した広報活動を展開しました。また、志木市の第5期地域福祉計画の策定にあわせ、地域福祉を推進するための行動計画である第6次地域福祉活動計画を策定しました。

基幹福祉相談センターでは、総合相談窓口として、生活困窮、後見、障がいに関する相談支援をはじめ、ひきこもりやヤングケアラーなど新たな生活課題にも対応できるよう体制強化を図りました。

(2) 高齢者支援

居宅介護支援事業所、地域包括支援センターでは、災害時に高齢者や障がい者等の要配慮者が安全に避難できるよう、「個別避難計画」の作成支援を行いました。

訪問介護事業所では、市から新たにヤングケアラー訪問支援事業を受託するなど、高齢者や障がい者を介護しているケアラーへの支援に加え、長寿えがお課全体として他機関とも連携し、世帯全員まるごとを支援していく取り組みを始めているところです。

(3) 地域福祉拠点

総合福祉センターでは、老朽化している設備などを確認し、市と連携して修繕計画を策定し整備を図るとともに、さまざまな訓練を実施し、緊急時にも円滑に対応できる体制を構築して、利用者が安心して利用できる施設運営を行いました。

宗岡第二公民館では、市内公民館施設と連携した事業を実施するなどして公民館利用者の拡大を図りました。

福祉センター、第二福祉センターでは、日曜・祝日にもさまざまな事業を増やして、更なる利用の拡大を図ることができました。

(4) 障がい者支援体制

障がい者通所施設では、利用者、保護者のほか、在宅福祉サービス関係者間で支援方針を共有して利用者一人ひとりに合わせたサービスを提供するとともに、送迎車両を増台して、送迎利用者の拡大を図りました。

地域活動支援センターでは、関係機関への事業周知を強化し、利用者の拡大を図っているところです。

(5) 子ども支援

児童センター、宗岡子育て支援センターでは、積極的PR活動を行うとともに利用者の声を生かした事業を実施し、利用者は確実に増え、コロナ禍前の利用者数に回復してきました。また、新たな取り組みとして利用時間外である夜間の時間帯に、児童向け映画の上映と保護者と一緒に参加できる縁日等を一体的に実施し、一定の成果を上げることができました。

放課後子ども教室・学童保育クラブでは、町内会の協力を得て、効果的な広報活動を行い、さまざまな知識や経験を持つ地域住民に「市民先生」として参画してもらい、体験プログラムの更なる充実を図ることができました。

1 法人運営

(地域福祉課)

1 事業の概要

社会福祉法人志木市社会福祉協議会の事業全体の管理及び総合的・計画的な事業執行を行うための組織管理を行う部門として、各課間の連絡・調整を図り、適正な法人運営を推進した。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：**重**、新規事業：**新**）

重 ショート動画の発信

全世代に対する社会福祉協議会の認知度向上を目的とした取組として、毎月、本会事業の「ショート動画」を作成し、SNS（X、Facebook、Instagram）上で配信した。

新 人事評価制度の実施

効果的な人材育成を推進するため、能力評価及び業績評価に基づく人事評価制度を本格実施した。職員のインセンティブを高めるため、評価の結果を職員の勤勉手当に反映した。

3 主要な施策の成果

(1) 法人運営・役員活動

① 会議など

ア．理事会 4回

回数	月日	出席者または 合意／定数 上段 理事 下段 監事	議案番号	主な内容
第1回	5月31日	11／11人 2／2人	第1号 定款の一部を変更する定款について 第2号 令和5年度事業報告及び決算書の承認について 第3号 令和6年度第1回補正予算について 第4号 令和6年度定時評議員会について	
第2回	6月19日 (書面)	11／11人 2／2人	第5号 理事候補者について	
第3回	10月24日	12／12人 2／2人	第6号 評議員選任候補者の推薦について 第7号 令和6年度第1回評議員選任・解任委員会について	
第4回	3月10日	11／12人 2／2人	第8号 役員等賠償責任保険の更新について 第9号 令和7年度予算及び事業計画について 第10号 令和6年度第2回評議員会について	

イ. 評議員会 2回

回数	月日	出席者または 合意／定数	議案番号	主な内容
第1回	6月26日	11／17人	第1号	理事の選任について
			第2号	定款の一部を変更する定款について
			第3号	令和5年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録並びに事業報告の承認について
			第4号	令和6年度第1回補正予算について
第2回	3月28日	13／17人	第5号	令和7年度予算及び事業計画について

ウ. 評議員選任・解任委員会 1回

エ. 監事会 1回

② 団体との渉外活動

ア. 総会 11回

イ. 新年会、記念式典等 10回

ウ. 寄附 2回

エ. 後援(協力)活動 4件

③ 寄附金の受け入れ 24件 564,690円

(2) 事務局活動

常勤職員8人分の人件費及び事務所の維持管理費など、必要な費用を支出した。

① 課長会議（全体会議） 12回

② 人事評価検討会議 1回

③ 衛生委員会 12回

④ 代表委員会議 3回

(3) 相談援助実習（社会福祉士）

4大学 計4人 延べ58日

(4) 組織強化活動

① 会員募集及び募金募集

ア. 地区委員会 1回

イ. 町内会加入実績 5,041,700円（うち特別会費 132,000円）

ウ. 事務局加入実績 1,128,500円（うち特別会費 1,019,500円）

計 6,170,200円（うち特別会費 1,151,500円）

エ. 赤い羽根募金実績 3,579,503円

オ. 地域歳末たすけあい募金実績 2,397,214円

② 福祉功労者表彰 3人6団体

③ 研修計画に基づく職員研修 8件 延べ84人参加

研修名	参加者 (人)
職員基礎研修	9
チームリーダーキャリアパス研修	1
中堅職員キャリアパス研修	1
接遇研修	5
感情マネジメント研修	37
ハラスメント防止研修	11
人が辞めない職場づくり研修	10
クレーム対応研修	10
合 計	84

(5) 広報活動

① 社協だよりの発行 年4回 各26,200部

発行月	No.	表紙
4月	213	総合福祉センターまつり
7月	214	たんぽぽ生活応援隊
10月	215	障がい者通所施設
1月	216	就労準備支援事業

② ホームページ・SNSの運営 (3月31日現在)

ア. Xフォロワー数 596人 総投稿数 755投稿
 イ. Facebook フォロワー数 440人 総投稿数 531投稿
 ウ. Instagram フォロワー数 452人 総投稿数 310投稿

③ 広報担当者会議 4回

(6) 福祉サービス適正運営

- ① 第三者委員会 1回
 ② 苦情受付件数 8件 (第三者委員による対応なし)
 ③ 事故発生件数 88件

(7) その他

志木市と株式会社丸井が包括連携協定を締結し、本会に関連イベントの協力依頼があったため、地域の子育て世帯を対象に「しきっ子♡ハッピータイム」を実施した。

実施日	参加組数 (組)	参加者 (人)
9月29日(日)	49	136人
1月15日(水)	15	34人
3月16日(日)	31	78人
合 計	95	248

2 地域福祉

3 法人後見事業

(地域福祉課)

1 事業の概要

小地域を基盤とした福祉活動を支援することにより、福祉コミュニティの形成を図った。また、地域住民の福祉・障がい理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア・市民活動の育成、援助を行った。さらに会員会費や共同募金配分金を活用し、公的制度を重層的に補完するための事業や地域で支える在宅福祉活動を展開した。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：**重**、新規事業：**新**）

重 第6次地域福祉活動計画の策定

志木市の第5期志木市地域福祉計画の策定に併せ、地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画となる第6次地域福祉活動計画（令和7年度から令和11年度）を策定した。

新 ボランティア登録制度の新設

地域活動への参加促進を目的とし、ボランティアの募集や活動参加に関する相談支援、活動先の紹介と調整を効率的に実施するためにボランティア登録制度を新設した。

あわせて、ボランティア活動団体や社会福祉施設等に対する受入ニーズの聞き取りや、公式LINEを活用したボランティア情報の発信を定期的に行った。

3 主要な施策の成果

(1) 地域福祉活動

① 地域福祉活動計画の推進

ア. 第6次地域福祉活動計画の策定（令和7年度～令和11年度） 150部

イ. 地域福祉推進委員会 4回

② 生活支援体制整備（市受託事業）

ア. 相談件数 318件

イ. 第1層協議体の実施 9回

ウ. コーディネーター会議の開催 3回

エ. 「大人のビタミンクラブ」活動体験会（宗岡地区編） 26人参加

オ. 「大人のビタミンクラブ」活動体験会（志木地区編） 22人参加

カ. 第2層協議体への参加 27回

キ. 自立支援型地域ケア会議への参加 9回

ク. 食の場づくり担い手育成・食育推進事業運営推進会議への参加 1回

ケ. アクティブシニア社会参加支援事業への参加 1回

コ. ごちゃまぜの会 1回

③ ふれあい健康交流会事業（市受託事業）

地区	回数（回）	延べ出席人数（人）	延べボランティア人数（人）
本町	7	6 8	5 1
柏町	7	1 7 4	7 0
館・幸町	2	1 8	1 3
宗岡 1 班	7	1 8 1	6 6
宗岡 2 班	7	1 1 0	5 1
合 計	3 0	5 5 1	2 5 1

④ 家族介護者交流事業（市受託事業）

月日	内容	参加者
7月12日	介護者同士のレクリエーション交流 「自分の時間も大切に！レクリエーションでリフレッシュ」	介護者 5 人 協力者等 2 人
11月25日	映画上映会 「99歳、母と暮らせば」	介護者 9 3 人 協力者等 8 人
12月9日	映画上映会 「お終活 熟春！人生百年時代の過ごし方」	介護者 8 8 人 協力者等 8 人

⑤ 小地域サロン活動の支援

ア. 支え合い・助け合い活動支援事業

支援内容	件数（件）	金額（円）
活動支援	3 5	—
事務費の支給	3 3	165,000
保険の加入	3 4	235,816
会場費の支給	2 0	472,220
広報物の支給	6	—
備品の貸出	8	—
イベント開催費の支給	6	69,718
備品購入費	3	8,991
合 計		951,745

イ. 子どもの居場所ネットワーク交流会への参加 6 回

⑥ 詐欺被害防止電話機等購入費補助金 6 5 件 6 0 3, 7 0 0 円

(2) ボランティア・市民活動センターの運営

① ボランティアに関する相談・調整・情報提供

ア. 相談・調整・情報提供件数 延べ 4 0 件

イ. ボランティア登録者 7 人

ウ. LINE 登録者 1 5 1 人（3 月 3 1 日現在）

エ. ボランティアセンターだよりの発行 年 1 回

オ. 市内民間保育園へのボランティアに関するアンケート調査 2 5 件

② ボランティア活動団体助成申請支援

種別	事業数 (件)	延べ団体数 (団体)
助成情報案内	12	87
申請支援	4	6
助成決定数	3	4

③ ボランティア関連保険

ア. ボランティア活動保険 1, 368人

イ. ボランティア行事用保険 105件

④ ボランティア体験プログラムー福祉学園ー

全55コース 延べ124人参加

⑤ ボランティア育成

ア. 手話奉仕員養成講習会入門課程 (市受託事業) 23人参加

イ. 手話奉仕員養成講習会基礎課程 (市受託事業) 17人参加

ウ. 点訳ボランティア養成講座 8人参加

⑥ 学校における福祉教育

ア. 福祉体験実績

小学校 58件 (8校)、中学校 10件 (3校)

イ. 朝霞地区四市福祉教育研修会 延べ66人参加

⑦ 地域福祉教育

ア. 聞こえない人の世界を知ろう (市共催) 60人参加

イ. スマートウォーカー育成講座 (市主催) 「地域活動の楽しみ方」 17人参加

ウ. 出前講座 (老後を快適に暮らす会) 2回 30人参加

エ. 講演会「パッチング・ケアで豊かな地域～世間話に花が咲く～」
(話し相手ボランティア語楽の会共催) 17人参加

⑧ 災害ボランティアセンター

ア. 研修・訓練

令和6年度災害ボランティアセンター合同運営研修

(町内会連合会、民生委員・児童委員協議会共催) 90人参加

イ. 職員派遣

令和6年能登半島地震 (石川県穴水町) 1人派遣 (5日間)

⑨ フードバンク事業 延べ572世帯

(3) 在宅福祉活動

① たんぽぽ生活応援隊

ア. 年間活動時間 1, 324時間30分

イ. 年間活動回数 1, 045回

ウ. 利用登録者 271人

エ. 協力員登録者 39人

② 福祉機材 (車椅子、ポータブルトイレなど) の貸出 延べ167件

③ 福祉車両利用料補助 延べ10件 64, 300円

④ 災害見舞金 2件 40,000円

(4) 共同募金配分事業

① 地域福祉活動助成金

助成事業名		地区数・件数	助成額 (円)
地域のつながりづくり支援			
	地区敬老会支援	19地区	595,700
	世代間交流支援	24地区	863,600
	福祉施設訪問支援	1団体	30,000
	在宅高齢者訪問支援	3団体	72,000
地域活動支援		39地区	1,532,500
生活を支える活動支援			
	生活サポート活動支援	13団体	359,800
	社会参加支援	7団体	192,300
	障がい者交流支援	1団体	11,300
戦没者遺族会活動支援		1団体	150,000
ボランティア活動保険補助		732人	146,400
合 計			3,953,600

② 介護用品購入支援事業

ア. 利用者 306人

イ. 介護用品及び購入支援数

介護用品	購入支援数
プラスチック手袋	195組
防水シート	147枚
手指消毒剤	70個
食事用エプロン2枚組	38組
浴槽すべり止めマット	61枚
ポータブルトイレ消臭錠	20個

③ 地域でつながる子育て応援事業（カプルリュックの配布）

受付場所	申請件数 (件)
いろは子育て支援センター「にこまある」	39
西原子育て支援センター「まんまある」	25
宗岡子育て支援センター「ぼけっと」	80
子育て支援センター「ぷちまある」	56
子育て支援センター「めばえ」	11
合 計	211

④ 生活困窮世帯支援事業（ひとり親世帯を対象として、食料品を提供）

申請者（世帯）数 194世帯

(5) 福祉サービス利用援助事業

① 利用状況

ア. 契約件数 14件（新規5件、契約終了5件）

イ. 分野別契約件数

高齢者	知的障がい	精神障がい	その他
8件	1件	4件	1件

② 相談・対応件数

相談日・時間	件数
月～金曜日 8時30分～17時15分	1, 155件

(6) 法人後見事業

① 利用状況

ア. 保佐人 6件

新規	終了	受任件数	内訳
1件	—	6件	90代女性1人、60代男性2人、70代女性1人、60代女性1人、50代女性1人

イ. 後見人 14件

新規	終了	受任件数	内訳
2件	—	14件	90代女性1人、80代女性2人、70代女性1人、50代男性5人、50代女性2人、40代男性1人、40代女性2人

ウ. 後見監督人 1件

新規	終了	受任件数
—	1件	1件

② 相談・対応件数 2, 819件

事務（身上保護・財産管理）	2, 237件
訪問件数	582件

③ 運営委員会及び支援員会議

ア. 権利擁護推進事業運営委員会 2回

イ. 権利擁護支援員会議 2回 16人参加

④ 会議・研修

ア. 専門員会議・研修 3回 延べ6人参加

イ. 志木市成年後見制度利用促進調整会議 6回 延べ6人参加

ウ. 志木市後見ネットワークセンター企画運営会議 6回 延べ6人参加

エ. その他会議・研修 10回

(7) 生活福祉資金貸付事業

新規	償還完了・免除	償還・据置中	特例貸付フォローアップ
3件	16件	101件	23件

4 基幹福祉相談センター

(地域福祉課)

1 事業の概要

基幹福祉相談センター（生活相談センター、後見ネットワークセンター、障がい者基幹相談支援センター）業務を受託し、生活困窮者、障がい者、高齢者及び子どもの自立支援など各制度・分野にわたる複合的な生活課題に対応するために専門的な相談支援を行うとともに基幹となる役割を担い、関係支援機関等と連携を図った。

2 重点事業（重点事業：**重**）

重 総合相談窓口としての相談支援、関係機関との連携

福祉に関する総合相談窓口として、複合的、包括的な支援を要する相談に対し、関係機関、専門機関などと連携をしながら、市民の相談支援を実施した。

生活相談センターでは、複合的な課題を抱えたケースの増加に伴い、他機関との連携強化に努め、伴走型の支援を行った。就労準備支援事業では、長期の離職やひきこもり状態にある人の日常生活や社会生活、就労に向けた個別プランに基づく支援を実施し、利用者が地域資源と繋がる機会を確保したことにより孤独・孤立を防ぐ居場所づくりの一步に繋がった。

後見ネットワークセンターでは、法律専門職や地域の福祉事業者等と連携し、権利擁護が必要な人に対して成年後見制度の利用相談と申立支援を行った。また、地域の権利擁護を担う人材の育成を行い、成年後見制度の普及啓発を市民後見人受任経験者とともに取り組んだ。

障がい者基幹相談支援センターでは、福祉事業者、行政等と連携しながら、障がい者のための相談支援体制の構築に向けた取り組みとして「地域自立支援協議会」の運営を行った。また、施設従事者向け研修会や事業所連絡会を通して市内福祉事業者同士の相互交流や人材育成を図った。

3 主要な施策の成果

(1) 相談窓口 3, 760件（新規相談 443件）

（生活相談、後見ネットワーク、障がい者基幹相談支援、その他）

(件)

来所	電話	メール	訪問	同行	会議	その他	合計
1, 766	1, 399	118	212	31	106	128	3, 760

(2) 生活相談センター

- ① 自立支援プラン 12人 策定件数 13件（新規・再プラン含）
- ② 住居確保給付金事業 3人 相談件数 延べ126件
- ③ 就労支援事業 79人 支援件数 延べ167件
- ④ 就労準備支援事業

ア. 利用者 9人 相談件数 延べ165件

イ. 就労体験先 1か所 就労体験日数 延べ4日間

ウ. 講座 26日 参加人数 延べ98人

- ⑤ 家計相談支援事業 相談件数 延べ53件（うち専門職相談27件）
- ⑥ フードバンク事業
 - ア. 食品受領 5, 836. 64kg
 - イ. フードバンク事業利用 延べ545回
 - ウ. 食支援連携会議への参加 4回
 - エ. 食支援事業の説明 1回
- ⑦ その他（担当者会議、地域ケアエリア会議、学習支援会議） 21回

(3) 後見ネットワークセンター

- ① 企画運営会議 6回、利用促進調整会議 6回
- ② 成年後見制度の普及啓発
 - ア. 専門職研修会 1回 25人参加
 - イ. 親族後見人向け交流会 1回 2人参加
 - ウ. 出前講座 6回（町内会1か所、老人クラブ2か所、婦人会1か所、地域包括支援センター1か所）、打合せ（普及啓発）18団体21回
 - エ. センター便りの発行 年3回
- ③ 市民後見人の活動支援
 - ア. フォローアップ研修 3回 42人参加
 - イ. 市民後見人の集い 4回 31人参加
 - ウ. 市民後見人の活動支援 5人 38回
- ④ その他（担当者会議、地域ケアエリア会議） 2回

(4) 障がい者基幹相談支援センター

- ① 地域の相談支援体制の強化
 - ア. 福祉事業所向け職員専門職研修 2回
 - イ. 障がい者相談支援事業所への巡回訪問指導 全7事業所 7回
 - ウ. 障がい者相談支援専門員に対する人材育成、能力向上研修等 22回
 - エ. 関係機関・福祉事業所との連携強化のための会議等出席 40回
- ② 地域移行・地域定着支援 会議4回 対象者26人（移行10人、定着16人）
- ③ 障がい者虐待防止と障がい者理解促進事業
 - ア. 障がい者虐待防止・強度行動障がい研修 1回
 - イ. 障がい者虐待通報及び届出受理 2件
 - ウ. 障がい理解促進と障がい者差別禁止啓発 2回
- ④ 自立支援協議会事務局の運営
 - ア. 全体会・各部会 6回
 - イ. プロジェクト会議 45回

(5) 会議・研修

- ア. その他会議 15件 延べ21人参加
- イ. 外部研修 40件 延べ45人参加

5 居宅介護支援事業

(長寿えがお課)

1 事業の概要

介護保険法及び障害者総合支援法における指定居宅介護支援事業所・指定特定相談支援事業所として、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で暮らしていくために要介護・要支援・事業対象者認定を受けた人や障がい者のケアプランを作成し、あわせて、介護者である家族の相談、情報提供、見守り等の支援を行った。

また、地域に密着したサービス提供ができるよう、関係各所との情報収集・情報交換を積極的に行い、連携強化を図りながら要介護者・障がい者の在宅生活を支援した。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：**重**、新規事業：**新**）

重 重層的支援の視点による支援

虐待、権利擁護、ヤングケアラーなど複合化した課題を抱えるケースやカスタマーハラスメントについて、行政、医療、サービス事業所と連携を図りながら対応を行い、利用者の生命と尊厳を守りつつ、意向を尊重した支援の提供を継続した。あわせて、多種多様なケースを支援し、事業所内の介護支援専門員及び相談支援専門員の能力向上へと繋げた。

新 個別避難計画の作成支援及び事業所におけるBCPの作成

志木市が実施する個別避難計画を利用者、家族が作成するにあたり、本人の心身の状況や生活実態を把握している介護支援専門員の専門性を活かし、災害時の避難場所や情報の管理、備蓄品等の具体的な計画について作成支援を行った。また、事業所におけるBCPの作成、検討を通じて、災害に対する心構え等を共有した。

3 主要な施策の成果

(1) 居宅介護支援

① 職員体制（令和7年3月末）

介護支援専門員	人数
常勤職員	5人
短時間勤務職員	1人

② ケアプラン数

種 別	延べ作成件数
介護計画	2,045件
介護予防計画	379件

③ サービス担当者会議 252回

主な会議内容	回数（回）
認定更新結果後のサービス	73
現在のサービス見直し	92
初回サービス担当者会議（新規利用者）	68

退院後の在宅復帰	6
区分変更後のサービス調整	13

④ 介護予防サービス担当者会議 30回

主な会議内容	回数 (回)
認定更新結果後のサービス	11
初回サービス担当者会議 (新規)	9
退院後の在宅復帰	1
区分変更後のサービス調整	1
現在のサービス見直し (変更・追加)	8

⑤ 相談件数 97件 (うちケアプラン作成件数83件)

(2) 計画相談支援

① 契約件数 37件 (件)

新規	終了	延べ契約件数
0	80	117

② 障がい別契約件数 117件 (件)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい
19	62	28	8

(3) 認定調査 20件 (志木市16件、他市4件)

(4) 会議・研修

① 居宅介護支援

- ア. 外部研修 (更新研修、認定調査研修等) 59件 延べ102人参加
- イ. 地域ケアエリア会議 4回 延べ4人参加
- ウ. 自立支援型地域ケア会議 2回 2人参加
- エ. 居宅介護支援事業所会議 12回 延べ94人参加
- オ. 居宅介護支援事業所事勉強会 (志木ケアマネスクエア) 6回 延べ18人参加
- カ. 事例検討会 5回 延べ39人参加
- キ. 内部研修 2件 延べ 9人参加
- ク. 包括ケアマネ支援勉強会 5回 延べ18人参加

② 計画相談支援

- ア. 会議・研修 9回 延べ11人参加
- イ. 自立支援協議会 2回
- ウ. 連絡調整会議 10回

6 訪問介護事業

(長寿えがお課)

1 事業の概要

指定訪問介護事業所、指定居宅サービス事業所及び志木市委託事業所として、さまざまな制度に基づくサービスの提供を行い、利用者の心身の状況を踏まえて、住み慣れた地域で在宅生活、日常生活を安心して送ることができるよう自立へ向けての支援を行った。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：**重**、新規事業：**新**）

重 動画研修の活用

訪問介護事業所の年間研修計画に位置付ける「認知症ケア」や「倫理及び法令遵守」など12項目のうち9項目の研修を集合型研修から動画研修に変更することにより、訪問日の調整など業務への影響を最小限に抑え、各ヘルパーの能力向上を図った。

重 ハラスメント防止への取り組み

訪問介護員へのカスタマーハラスメントや利用者へのハラスメントを防止するため、ハラスメントの定義や種類、事業所としての対応について内部研修を通じて理解を深めた。また、上司からのパワーハラスメント防止に対する研修は、外部研修を活用してヘルパーへの指導方法について学び、ヘルパーが働きやすい職場環境づくりを行った。

新 ヤングケアラーの支援

志木市からヤングケアラー訪問支援事業を受託し、ヤングケアラーの日常生活における負担軽減や世帯の生活の安定を図るため、ニーズに沿った家事援助サービスや訪問記録の共有を志木市へ行った。

3 主要な施策の成果

(1) 訪問介護

① 職員体制（令和7年3月末）

職員種別	人数（人）
サービス提供責任者（常勤）	4
サービス提供責任者（短時間）	2
事務職（短時間）	1
登録ヘルパー	28

② 活動時間、利用者数

区 分	活動時間（時間）	訪問回数（回）	延べ利用者数（人）
訪問介護	9, 584	10, 686	1, 122
第1号訪問事業	3, 189	3, 926	780
居宅サービス事業	3, 535	3, 504	410
移動支援事業	1, 331	1, 147	183
育児・養育・ヤングケアラー事業	94	71	17
合 計	17, 733	19, 334	2, 512

(2) 研修・会議

① 職員・登録ヘルパー必須研修(集合型研修3回含む) 12件 延べ408人参加

回	研修内容	研修時間
1	倫理及び法令遵守に関する研修	40分
2	身体拘束の排除・高齢者虐待に関する研修	55分
3	事故発生緊急時又は再発防止に関する研修	1時間15分
4	緊急時の対応に関する研修	45分
5	感染症業務計画に関する研修	1時間
6	感染症・食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修	1時間10分
7	ハラスメントに関する研修	45分
8	認知症及び認知症ケアに関する研修	1時間25分
9	介護現場で気をつけたいプライバシー保護に関する研修	1時間25分
10	障害者虐待の防止及び身体拘束等の適正化のための研修	1時間
11	接遇に関する研修	1時間
12	災害業務継続計画に関する研修	1時間
合 計		12時間20分

② 職員・登録ヘルパー個別研修 3件 延べ102人参加

③ 職員・登録ヘルパー全体会議 12回 延べ408人参加

④ 外部研修(WEB研修含む) 9件 延べ13人参加

⑤ サービス提供責任者会議 12回 延べ86人参加

⑥ 地域ケアエリア会議 3回 延べ4人参加

⑦ 介護保険集団指導 1回

⑧ 障がいサービス集団指導 1回

(3) サービス担当者会議 203回

主な内容	回数(回)
身体及び生活環境の変化による業務の見直しと今後の対応について	23
要介護認定更新に伴うサービス内容の確認について	54
生活状況及びサービス内容の確認について	20
退院後の在宅復帰に向けて	4
新規訪問でのサービス提供内容について	72
その他(ケアマネジャー交代等)	30

(4) 講師派遣

志木市社会福祉協議会職員研修「車いす及び視覚障がい者への介助体験研修」

サービス提供責任者2人派遣

7 地域包括支援センター

(長寿えがお課)

1 事業の概要

市からの委託により、柏町及び館・幸町地区の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう相談を受け、高齢者を見守り、心身の状態に併せた支援を行った。また「地域包括ケア」の中核機関として、必要な総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメントなどを実施した。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：**重**、新規事業：**新**）

新 「だれでも気軽に介護予防！」の開催（柏の杜）

住民が自主的に介護予防に取り組めるよう「いろは百歳体操」及び「バルーン体操」の体験会を実施した。また、介護予防に関するチラシや書籍、ミニ講座、相談の場の提供など積極的な情報発信を行った。10月には「介護予防まつり」と称して、第二福祉センターと協力し、生命保険会社による「血管年齢測定」や「ベジタブルチェック」、福祉用具事業者による「福祉用具ミニ展示説明会」を実施し、セルフケアの意識を高める取り組みを行った。

生活支援体制整備事業として介護予防と地元の再発見を目的に「柏町再発見わくわくウォークラリー」を実施した。

重 関係団体との情報共有の強化（館・幸町）

館地区の一部の地域では高齢化率が50%を超えており、単身世帯や高齢者世帯が多いことから、町内会活動や老人クラブ、住民主体の活動をはじめ、行政や関係機関との連携をより一層強化し、支援が必要な世帯の早期発見、介入に努めた。

幸町地区では、いろは百歳体操や地域の身近な仲間づくりを目的とするサロンの立ち上げを支援し、新しい集いの場を創出した。

あわせて、館地区及び幸町地区の郵便局や医療機関、薬局等と協力し、チラシの配布等事業所の周知を行った結果、相談件数が前年度と比較して1,000件以上増加した。

生活支援体制整備事業では、地域の団体同士のつながりづくりを積極的に行い、活動を活性化させるための情報交換会を開催した。

3 主要な施策の成果（志木市高齢者あんしん相談センター柏の杜）

(1) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 4,602件（実人数398人） (件)

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合 計
2,790	450	1,336	26	4,602

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数 (件)
高齢者世帯実態把握二次調査	郵送調査による包括の訪問希望者	50

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数 (件)
会議・打合せ	民生委員会議、施設会議などへの参加・打合せ	8
活動支援	サロン活動、ボランティア団体会議への参加など	6 9
出前講座	介護予防・地域包括支援センターについてなど	5 7
ケアラー支援	講演会(館・幸町共催)	1

(2) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数 (件)	実人数 (人)
権利擁護・成年後見人制度関連	1	2
虐待関連	3	3

② 啓発講座

講座内容	回数 (回)	参加者 (人)
交通安全、消費生活アドバイス	1 3	1 4 6
成年後見制度啓発講座	1	1 4

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数・件数
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	7 2 6 件
会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	4 回
地域ケア会議	エリア会議開催、自立支援型地域ケア会議参加	1 4 回
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議などへの参加	1 1 回
生活支援体制整備	2層協議体・打合せ・会議・サロン支援など	6 8 回
介護予防事業	イベント「だれでも気軽に介護予防！」 訪問型・通所型サービス等の調整	6 回 5 3 件

(4) 介護予防支援事業所

主な内容		回数・件数
給付管理	介護予防支援 延べ9 7 2 件 介護予防ケアマネジメント 延べ2 3 6 件	延べ1, 2 0 8 件
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		1 2 4 回
要介護認定申請書などの申請を代行		1 5 3 件

(5) 市受託事業

① 元気づくり事業

事業名	主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
自立支援教室	体操&太極拳	2 3	2 3 6
	自宅で取り組む毎日チャレンジ	1 2	4 5 9

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
認知症カフェ	茶話会・講演会	1 2	2 6 4
認知症高齢者見守り事業	見守りに関する講座	1	3 8
認知症初期集中支援チーム	チームでの訪問による状況把握	4	7

(6) 会議・研修

- ① 職員外部研修 2 6 件 延べ4 0 人参加
 ② その他関係会議 7 3 回

4 主要な施策の成果（志木市高齢者あんしん相談センター館・幸町）

(1) 総合相談支援業務

- ① 総合相談受付件数 7, 1 1 6 件（実人数7 4 0 人） (件)

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合 計
4, 7 3 7	3 8 1	1, 7 1 4	2 8 4	7, 1 1 6

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数 (件)
高齢者世帯実態把握二次調査	民生委員調査後の二次調査	1 6 0

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数 (回)
会議・打合せ	民生委員会議、施設会議などへの参加・打合せ	1 1
活動支援	老人会、サロン、ボランティア活動支援・協力	1 1 2
出前講座	介護保険、認知症、ミニ講座等	4 4
出張相談	館地区出張相談所	2 2
ケアラー支援	講演会(柏の杜共催)	1

(2) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数 (件)	実人数 (人)
権利擁護・成年後見人制度関連	2 8	8
虐待関連	2 0	4

② 啓発

講座内容	回数 (回)	参加者 (人)
交通安全、消費生活アドバイス講座	2 2	5 6 6

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数・件数
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	1, 532件
会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	18回
地域ケア会議	エリア会議開催、自立支援型地域ケア会議参加	16回
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議への参加	12回
生活支援体制整備	2層協議体・打合せ・会議・サロン支援など	16回
多世代交流	保育園とサロンとの交流、保育園での交流	3回
介護予防事業	いろは百歳体操立ち上げ・活動支援	64回
	訪問型・通所型サービス等の調整	35回

(4) 介護予防支援事業所

主な内容		回数・件数
給付管理	介護予防支援 延べ1, 552件	延べ1, 966件
	介護予防ケアマネジメント 延べ414件	
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		166回
要介護認定申請書などの申請を代行		301件

(5) 市受託事業

① 元気づくり事業

内容	主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
自立支援教室	脳活性化ゲーム	16	195

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
認知症カフェ	介護者のつどい	3	28
認知症見守り事業	講演会・グループワーク	2	98

(6) 会議・研修

① 外部研修 36件 延べ58人

② その他関係会議 62回

8 志木市総合福祉センター

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

住み良い地域社会の形成と福祉の増進を図るため、誰もが安心して利用できる地域福祉拠点施設の管理運営を行うとともに、複合施設の利点を活かし、関係機関や団体と連携した事業を実施した。(指定管理者)

2 重点事業(重点事業：重)

重 修繕計画の策定

建物、電気・空調・消防・給排水などの各種設備の更新時期や更新内容を明確にした施設保全台帳及び中長期保全計画を含めた中期修繕計画を策定し、市へ提出した。また、同計画をもとに市と調整を図り、市が6年度中に計画していた防犯カメラの更新及び館内照明の完全LED化が完了したほか、今後の修繕計画について協議した。

重 不審者等対策訓練等の実施

朝霞警察署の協力を得て、図書室で不審者が暴れたことを想定した防犯訓練を実施し、さす又の実技指導などを受けた。また、消防訓練は、消防署員立会いのもと、平日、土日・夜間などを想定した総合訓練を実施した。

3 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況

開館日数 3 5 5 日

施設名	利用回数(回)	利用人数(人)
ホール	5 9 3	2 5, 3 9 8
2 0 1 会議室	5 1 1	5, 1 3 4
2 0 2 会議室	5 1 9	5, 1 5 2
2 0 3 会議室	4 8 1	4, 2 7 6
合 計	2, 1 0 4	3 9, 9 6 0

<臨時休館>

休館日	休館理由
9月8日	停電を伴う電気点検
6月23日、10月13日、2月9日	館内定期清掃

(2) 事業実施状況

事業名	共催者等	実施日	参加者(人)
総合福祉センターまつり	総合福祉センターまつり実行委員会、社協共催	3月1日～3月2日	2, 0 7 9
サークル体験会	利用サークル5団体	9月5日～12月17日	8

事業名	共催者等	実施日	参加者（人）
サマーコンサート	宗岡第二公民館、児童センター、宗岡子育て支援センター、福祉センター共催	7月23日	184
福祉映画会 「お終活」	宗岡第二公民館、福祉センター共催	9月16日	118
多世代交流事業	共催：福祉センター、宗岡第二公民館 協力：志木市老人クラブ連合会、サンデー会 同時開催：児童センター、宗岡子育て支援センター事業	11月24日	53
こども向け映画会 「すみっコぐらし」	宗岡第二公民館、児童センター、宗岡子育て支援センター共催	3月27日	41

(3) 防火管理・安全対策・職員研修

火災、地震、水害、事件・事故などの危機に明確かつ迅速に対応できるよう、危機管理マニュアルを更新し、職員及び関係者へ周知した。また、消防署立会いによる消防訓練、警察官の指導による防犯研修、障がい理解研修などを実施した。

① 主催訓練・研修

事業名	主な内容	実施日	参加者（人）
消防訓練	避難・通報・消火訓練、水消火器、図上訓練	9月24日	79
	避難・通報・消火訓練、映像上映、図上訓練	2月3日	94
地震対策	シェイクアウト訓練	9月2日	117
防犯研修	不審者対応、さすまたの実技	9月30日	75
普通救命講習会	心肺蘇生、AED、止血、異物除去、回復体位	10月31日	25
障がい理解	制度説明、車いす操作・ガイドヘルプの実技	11月29日	46
認知症理解	認知症サポーター養成講座	12月9日	40

② 外部研修 6件 延べ11人参加

(4) 印刷機貸出及びコピーサービス

地域福祉を推進する団体などに、コピーサービス及び大判コピー機、印刷機の貸出を実施した。

コピー	モノクロ	4,331枚	
	カラー	530枚	
大判コピー		57件	129枚
印刷機		250件	181,373枚

(5) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。（集計数945件）

9 宗岡第二公民館

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

住民への教養の向上をはじめ、健康を増進し、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、利用者の誰もが安心して利用できるように施設の運営を行うとともに、関係機関や団体と連携して各種事業を実施した。(指定管理者)

2 重点事業及び新規事業(重点事業：重、新規事業：新)

重 来室者アンケートの実施

図書室利用に関するアンケートを実施し、結果をもとに職員間で共有・検討を行い、興味の多かったテーマで図書の特設コーナーを設置した。また、雑誌については、全体のバランスを考慮しながら、令和7年度の購入雑誌の入れ替えを行った。

新 3館合同リレー講座

いろは遊学館、宗岡公民館と連携し、周知を協力しながら3館で順番にヨガ講座を行った。3館の講座に参加することでより充実した効果が得られるヨガプログラムとした結果、ほとんどの参加者が複数施設で参加があり、市内公民館施設の認知度を高めた。

3 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況

開館日数 355日 全10室 4,316回 43,853人利用

施設名	利用回数 (回)	利用人数(人)	施設名	利用回数 (回)	利用人数(人)
401会議室	515	6,933	406会議室	905	4,429
402会議室	357	6,547	和室	337	1,839
403会議室	286	2,656	調理室	193	2,224
404会議室	342	3,748	トレーニング室	691	7,661
405会議室	460	6,209	美術工芸室	230	1,607
合 計				4,316	43,853

<臨時休館>

休館日	休館理由
9月8日	停電を伴う電気点検
6月23日、10月13日、2月2日	館内定期清掃

(2) 事業実施状況

① 自主事業 30事業 194回 参加者6,382人

分類(事業数)	事業名	回数(回)	参加者(人)
高齢者事業(1事業)	寿大学	20	814
ICT学習支援事業(1事業)	スマホ講座	1	13

一般成人事業（８事業）	バルーンアート講座、３館合同リレー講座、自習スペース開放事業等	１０	１，４５１
家庭教育・子育て支援事業（５事業）	夏休み宿題お助け教室、書初め練習会等	１９	２６３
青少年事業（２事業）	小学生の勉強会、中学生の勉強会	７５	７５２
図書室関連事業（５事業）	えほんとなかよし（よみきかせ）、読書ビンゴ、本のお楽しみ福袋等	３９	５９４
地域福祉事業（２事業）	みんなの木あそび、写真教室	１９	９９
地域連携事業（１事業）	子ども会共催料理講座	１	３２
サークル支援共催事業（２事業）	サークル体験会、認知症サポーター養成講座	７	４８
館内共催事業（３事業）	総合福祉センターまつり等	３	２，３１６

（休止した事業：サークル支援共催事業（１事業））

② 図書室運営 開館日数 ３３６日

ア．利用者数 (人)

児童	青少年	一般	団体等	合計
３，１３９	３４８	８，６９５	２６０	１２，４４２

イ．貸出資料数・リクエスト受付数

	児童書	一般書	雑誌	A V 資料	合計
貸出資料数(点)	26,399	12,845	2,215	3,719	45,178
リクエスト受付数(件)	1,036	3,406	574	255	5,271

③ ボランティア協力

ボランティアの協力により図書室内で行っているよみきかせの拡大を図り、宗岡子育て支援センター内での出張よみきかせを開始した。また、バルーンアート講座では、受講者が学んだことを地域活動に活かせるよう働きかけ、総合福祉センターまつりでは、来場者にバルーンアートをプレゼントするボランティアとして協力いただいた。

(3) 防火管理・災害対策・職員研修

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき、総合福祉センター内の各施設と連携した消防訓練を２回実施し、延べ１４人参加した。また、利用者サービスの充実や職場の環境づくりに必要な研修として、感情マネジメント研修、ゲートキーパー研修、ハラスメント防止研修等の外部研修に参加し、さらに館内事業所等を対象に安心・安全・快適な施設運営を行うために必要な研修として、防犯研修会、普通救命講習会、障がい理解研修会、認知症サポーター養成講座を主催し、延べ５８人参加した。

(4) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。（集計数 ２，４１８件）

10 志木市福祉センター

11 志木市第二福祉センター

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

高齢者が健康で明るい生活を送ることができるよう、高齢者福祉推進の拠点として、介護予防推進事業やレクリエーションの実施など、各種事業を展開するとともに、高齢者の憩いの場所として、快適に過ごせる施設運営を行った。(指定管理者)

2 重点事業及び新規事業(重点事業：重、新規事業：新)

重 日曜・祝日の利用促進

福祉センターでは、脳トレ講座、大人の折り紙、健康麻雀大会、フラダンス観賞・体験、チェロとピアノのコンサートなど、第二福祉センターでは、ろっ骨体操カキラ、津軽三味線・民謡コンサートなどさまざまな事業を実施し、日曜・祝日の利用を促進した。

重 入浴施設における衛生管理の徹底

「公衆浴場における衛生等管理マニュアル」「浴室の清掃・消毒マニュアル」の見直しに基づき、毎日の浴室管理を徹底した。また、日常点検表も見直し、書類上の整合性を確保した。

新 「スマホセミナー」の開催

基本操作を中心に、文字入力苦手な高齢者のために音声による検索機能や日頃よく利用するアプリを説明するカリキュラムを開催したことにより、参加者からは好評を得ることができた。

3 主要な施策の成果(志木市福祉センター)

(1) 利用状況

開館日数 355日 (人)

市内利用者	市外利用者	合 計
26,231	146	26,377

<臨時休館>

休館日	休館理由
9月8日	停電を伴う電気点検
6月23日、10月13日、2月2日	館内定期清掃

(2) 教室事業

教室名	回数(回)	参加者数(人)
レクリエーションダンス①②	20	220
健康体操①②	20	288
3B体操	10	190
太極拳①②	20	291
フォークダンス	10	191

体幹ストレッチ	9	1 9 6
脳活性化ゲーム	1 0	1 2 1
大人のぬり絵（自習含む）	2 0	3 0 1
書道	8	1 8 5
民謡	1 0	1 4 1
声のトレーニング①②	2 0	2 5 8
1 1 教室（自習を含む）	1 5 7	2, 3 8 2

(3) 介護予防事業

事業名	回数(回)	参加者数 (人)
朝の5分間体操	3 5 4	6 4 1
楽々筋トレ塾	3 5 4	1, 7 3 3
楽々筋トレ塾初回講習	2 2	3 8
楽々筋トレ塾フォローアップ講習	1 2	4 5
ころばん塾㊦㊧㊨	1 3 9	3, 0 0 6
カッピー体操	4 6	8 0 8
スマイル体操㊩㊪	9 5	1, 5 2 6
椅子ヨガ①②	4 7	5 9 5
歌声サロン	4 3	6 1 4
大人の折り紙	1 2	1 3 1
健康講座	6	1 5 8
輪投げ・マグダーツ練習会	4 3	4 1 0
健康麻雀	3 5 4	5, 2 1 4
健康麻雀大会	4	8 5
囲碁	2 9	5 8
健康麻雀初心者講座	1 0	1 9 0
脳トレ講座	5	7 9
骨密度測定会	1	4 6
骨盤エクササイズ講座	1	1 8
写経講座	1	2 8
スマートフォン体験講座	1	1 7
フラダンス鑑賞・体験	1	3 3
カッピースタッフ養成講座	1 0	6 4
2 3 事業	1, 5 9 0	1 5, 5 3 7

(4) イベント事業

事業名	回数(回)	参加者数 (人)
チェロとピアノのコンサート	1	7 2
カラオケサークル市民文化祭	1	1 1
カラオケサークル発表会	1	8 2
高齢者作品展示会	1	5
4 事業	4	1 7 0

(5) 共催事業

事業名	共催事業所	来場者数 (人)
サマーコンサート	児童センター、宗岡子育て支援センター、 総合福祉センター、宗岡第二公民館	1 8 4
映画会	宗岡第二公民館	1 1 8
多世代交流事業	総合福祉センター	5 3
大人のぬり絵作品展示会	第二福祉センター	2 2 6
総合福祉センターまつり	全館	2, 0 7 9
5 事業		2, 6 6 0

(6) スマホちょこっと相談

相談件数 2 2 件

(件)

基本設定	電話	メール	カメラ	SNS	インターネット	アプリ・サイト	その他	合計
2	2	2	1	6	3	4	2	2 2

(7) サークル活動

活動内容	団体数(団体)	利用回数(回)	利用人数(人)
カラオケ	9	2 3 1	2, 2 8 9
体操、ダンス	8	2 1 8	3, 4 9 4
手芸・折り紙	2	2 5	1 8 3
カーレット	2	5 2	6 1 6
麻雀	3	4 9	2 5 8
太鼓	1	2 4	1 1 1
書道	1	1	1 6
合 計	2 6	6 0 0	6, 9 6 7

(8) 志木市老人クラブ連合会事務局活動

志木市老人クラブ連合会事務局及び各单位老人クラブに関する業務を行い、日常活動や事業の連絡調整、準備、決算、記録、会計研修などの諸活動の支援を行った。

事業は、友愛訪問活動をはじめ、輪投げ大会、マグダーツ大会、日帰り旅行、市民文化祭芸能発表及び高齢者作品展示会などについて、事業計画どおりにすべて実施した。

(9) 防火管理

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき、総合福祉センター内の各施設と連携し、館内のすべての機関が参加する消防訓練に年2回参加した。

(10) 研修

内部研修 3 件 6 人参加

(11) 利用者アンケート

令和7年3月20日～31日（12日間） 130枚

4 主要な施策の成果（志木市第二福祉センター）

(1) 利用状況

開館日数 356日 (人)

市内利用者	市外利用者	合 計
27, 137	74	27, 211

<臨時休館>

休館日	休館理由
2月9日	受水槽保守点検及び清掃
6月9日、12月8日	館内定期清掃

(2) 浴室利用（予約制）

利用日数 269日※ (人)

男性	女性	合 計
5, 668	6, 650	12, 318

※1月24日～2月13日 循環ポンプ故障のため休止

(3) 教室事業

教室名	回数(回)	参加者数(人)
大人のぬり絵教室（自習含む）	19	211
健康体操教室	10	164
3B体操教室	10	201
シニアダンス教室	10	145
書道教室	10	191
太極拳教室	10	179
脳活性化ゲーム教室	10	138
珠算教室	10	84
リズム体操教室	10	175
あし・こし・脳・げんき教室	10	109
声のトレーニング教室	10	126
11教室	119	1, 723

(4) 介護予防事業

事業名	回数(回)	参加者数(人)
朝の5分間体操	289	1, 106
楽々筋トレ塾	356	2, 366
楽々筋トレ塾初回講習	25	45
楽々筋トレ塾フォローアップ	12	81
ころばん塾	140	2, 583
カッピー体操	46	644
歌声ひろば	10	334
介護予防まつり（柏の杜）協力	1	73
健康セミナー リフレッシュ体操	4	118
スマホセミナー	4	54
ろっ骨体操カキラ	24	386
骨盤調整エクササイズ	1	24

将棋	1 1 7	3 4 1
1 3 事業	1, 0 2 9	8, 1 5 5

(5) イベント事業

事業名	回数(回)	参加者数(人)
チェロ演奏会	3	1 1 9
あどはだり	3	1 2 8
津軽三味線コンサート	1	4 4
3 事業	7	2 9 1

(6) 共催事業

事業名	共催事業所	来場者数 (人)
大人のぬり絵作品展示会	福祉センター	2 2 6
1 事業		2 2 6

(7) スマホちょこっと相談

相談件数 3 2 件 (件)

基本設定	電話	カメラ	LINE・アプリ	その他	合 計
7	1 3	3	6	3	3 2

(8) サークル活動

活動内容	団体数(団体)	利用回数(回)	利用人数(人)
カラオケ	9	1 7 2	1, 3 4 2
カーレット	1	2 5	2 6 5
フラダンス	2	4 4	2 2 9
日本舞踊	2	6 0	2 7 8
輪投げ	1	2 2	7 5
手芸・百人一首	2	1 1	3 2
茶話会・勉強会	3	1 8	2 1 5
ぬり絵	1	1 2	9 9
体操	2	1 3	1 1 5
卓球	1	1 3	6 8
合 計	2 4	3 9 0	2, 7 1 8

(9) 隣接住宅の見守り安全確認

隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らしの高齢者に対し、定期的な安否確認を実施した。

(10) 防火管理

安心して施設を利用していただくため、消防訓練を年 2 回実施した。

(11) 研修

- ① 外部研修 4 件 1 人参加
- ② 内部研修 4 件 1 2 人参加

(12) 利用者アンケート

令和 7 年 3 月 2 0 日～3 1 日 (1 2 日間) 1 0 3 枚

12 障がい者通所施設（生活介護）

13 障がい者通所施設（就労継続支援B型）

（ふれあい交流課）

1 事業の概要

障害者総合支援制度に基づき、利用者の自立した日常生活又は社会生活や継続的な就労活動ができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性等を踏まえた個別支援計画を作成し、利用者に対して適切かつ効果的な障がい福祉サービスを実施した。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：重、新規事業：新）

重 送迎サービスの拡大（全体）

令和5年度末のふれあい号の廃止に伴い、送迎車両を4台から5台に増やし、安全に運行できるよう職員体制を整え、生活介護利用者を中心に年間延べ10,240人に送迎サービスを提供した。

重 工賃の増額（就労継続支援B型）

クローバーでは、従来の灰の作業や雑誌等の付録分別作業、缶バッチ製造、油処理袋の縫製作業、公園や公共施設トイレ清掃の他に、新たに、学童保育室や地域包括支援センターの清掃作業、情報誌のポスティング業務を請け負い、利用者の訓練機会の拡大と工賃向上に取り組んだ。

食堂を運営するひまわりと菓子製造を行う東館では、度重なる原価高騰に対応しながら、工賃の原資となる売り上げの確保を維持するため、食材の仕入れ、メニューの工夫を随時行い、対策を講じたことで、大幅な売り上げ減少を防ぐことができた。また、新規商品の開発に取り組んだことで、利用者へ新たな作業の提供をすることができ、作業能力の向上を図ることができた。

クローバー、ひまわり、東館の3事業所の就労支援事業収入は、各事業所が努力を続けた結果、昨年に引き続き1,600万円を超えることができ、利用者一人ひとりの平均工賃月額、昨年度より2,644円増の30,095円とすることができた。

新 利用者と保護者のニーズにこたえたミニ懇談会の開催

9月と1月の2回、ご本人や保護者が抱える課題をテーマに「ミニ懇談会」を開催。日々の不安の解消や「親なき後問題」等の課題解決に向けての情報提供や保護者間の交流を図ることができた。

開催日	テーマ	参加人数
9月5日	話してみよう、考えてみよう、わが家の防災について（垂直避難訓練と同時開催）	保護者11人 職員2人
1月30日	3年後、5年後…今からできることを考える	保護者12人 職員（講師含む）5人

3 主要な施策の成果（生活介護）

(1) 新規契約者数

- ① 新規契約 2 人（10 代女性 2 人）
- ② 契約終了 1 人（20 代男性）

(2) 利用登録者数（3 月 31 日現在） 平均利用者数 14.0 人／日 ※報酬改定により算出方法変更

	利用登録者数	延べ利用者数
つくしんぼ	24 人	4,571 人

(3) 平均工賃（一人あたり）

	年額(円)	活動内容
つくしんぼ	2,319	自主製品販売、アルミ缶回収（185 回実施分）

(4) つくしんぼの活動

- ① 販売活動 17 回
- ② 健診と余暇活動など

	活動内容	回数(回)
健診	内科検診	12
	歯科検診	2
余暇活動・地域交流など	大正琴	22
	療育音楽	6
	市内他団体との交流会	1
	外出行事	2
	スポーツ・レクリエーション	50
	絵画教室	12
	リハビリ体操	51
	クリスマス会	1
	ボランティアの受入れ（さをり織り）	12

(5) 関連業務

① 実習体験生の受け入れ

所属など	人数	日数
通所希望者	1 人	2 日
所沢おおぞら特別支援学校	6 人	27 日

② 避難訓練

- ア．シェイクアウト訓練（9 月 2 日実施） 利用者 20 人、職員 5 人参加
- イ．避難確保計画に基づく避難訓練（9 月 5 日実施） 1 回
利用者 19 人、職員 9 人、保護者 5 人参加
- ウ．総合福祉センター避難訓練 2 回 延べ利用者 17 人、職員 6 人参加

③ 会議・研修等

分類	つくしんぼ		管理（所長、サビ管）	
外部研修	6 件	1 5 人	1 0 件	1 3 人
内部研修	3 件	2 4 人	3 件	6 人
職員会議	1 2 回		1 2 回	

4 主要な施策の成果（就労継続支援B型）

(1) 新規契約・契約終了者数

- ① 新規契約 1 人（1 0 代男性）
- ② 契約終了 2 人（2 0 代女性・3 0 代女性→他事業所へ）

(2) 利用登録者数（3 月 31 日現在） 平均利用者数 2 6 . 2 人／日

	利用登録者数	延べ利用者数	平均利用者数
クローバー	1 7 人	3 , 8 4 4 人	1 5 . 7 人
ひまわり	8 人	1 , 0 6 8 人	4 . 4 人
東館	9 人	1 , 5 0 4 人	6 . 1 人

(3) 平均工賃（一人あたり）

	月額(円)	活動内容
クローバー	24, 486	清掃及び除草、御香炉灰、缶バッチ製造など
ひまわり	55, 255	食堂運営、学童おやつ提供
東館	26, 444	焼き菓子製造、学童おやつ提供
平均工賃	30, 095	

(4) クローバーの活動

① 就労支援活動

就労場所	活動内容	延べ活動者（人）	売り上げ（円）
施設外作業 市役所・市内公園 ・メール便など	清掃及び除草 納品・配達・販売 資材搬入出	1 , 0 9 1	1, 491, 553
施設内作業	内職（御香炉灰など）	3 , 8 3 8	3, 706, 296
	缶バッチ製造	1 0	219, 605

② 余暇活動

活動内容	回数（回）	延べ参加者（人）
大正琴	2 2	1 4 5
療育音楽	6	8 7
絵画教室	1 2	3 5
クリスマス会	1	1 6

(5) ひまわり・東館の活動

① 就労支援活動

主な活動内容	活動日数 (日)	延べ来客数・提供数 (人)	売り上げ(円)
食堂運営	2 3 9	1 0, 5 9 8	5,733,700
学童おやつ提供	1 4 9	2 3, 8 6 0	2,879,920
クッキー等焼菓子製造	2 4 2	—	1,999,720

② 余暇活動

活動内容	回数 (回)
療育音楽	6
クリスマス会	各 1

(6) 関連業務

① 実習体験生の受け入れ

所属など	クローバー		ひまわり		東館	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
通所希望者	1 人	1 日	—	—	—	—
所沢おおぞら特別支援学校	3 人	1 4 日	—	—	—	—

② 避難訓練

ア. 避難確保計画に基づく避難訓練(9月5日実施)

回数	クローバー	ひまわり	東館	保護者	就労B職員
1 回	1 4 人	4 人	7 人	2 人	1 0 人

イ. シェイクアウト訓練 (9月2日実施)

回数	クローバー	ひまわり	東館	就労B職員
1 回	1 5 人	0 人	5 人	9 人

ウ. 総合福祉センター避難訓練

回数	クローバー	ひまわり	東館	就労B職員
2 回	1 9 人	0 人	8 人	1 2 人

③ 会議・研修等

分類	クローバー		ひまわり		東館	
外部研修	3 件	3 人	3 件	3 人	5 件	6 人
内部研修	6 件	1 8 人	4 件	1 0 人	3 件	5 人
職員会議	1 2 回	—	1 2 回	—	1 2 回	—

14 地域活動支援センター

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

障がい者等の意思及び人格を尊重し、地域において自立した生活を営むことができるよう、障がい者等の声をもとにした創造的活動及び生産活動の機会の提供並びに社会との交流を図る事業を実施した。

2 重点事業（重点事業：重）

重 サークル活動の発展

新たなサークル活動を開拓するため、各教室事業の参加者に聞き取り調査などを行い、要望のあったカラオケ活動について、活動場所などを手配し、令和7年度からサークル活動が開始できるよう準備を進めた。

重 新規利用者の確保、利用者の社会参加意欲及び制作意欲の向上

機能回復訓練事業では、新規利用者確保のため、相談支援事業所や地域包括支援センターなどに地域活動支援センター事業の周知をした。

陶芸教室は、参加者の強い要望に応えるため、総合福祉センター以外の窯を使う方法として講師に焼成を依頼し、年6回継続して開催した。青年学級では、ボランティアの人数確保に努め（延べ26人→延べ35人）、参加者の安全確保と社会経験を豊かにするよう取り組んだ。SNSや総合福祉センターまつりを通じ、利用者の作品や活動風景を発信し、利用者の創作意欲を向上させると共に、新たな利用者確保に繋げた。

3 主要な施策の成果

(1) 地域活動支援センターの管理運営

① 障がい者団体及びボランティア団体への活動場所の提供

6団体 133回 延べ1,587人

② 職員研修

6件 延べ9人参加

(2) 自主事業及び受託事業の実施

① 教室事業（創作活動）

教室名	回数(回)	参加者(人)
生花教室	11	72
陶芸教室	6	38
料理教室	11	121
体操教室	12	77
みんなの木あそび	16	87
写真教室・PC加工	3	15
6教室	59	410

② サークル活動

サークル名	回数(回)	参加者(人)
ペンギンクラブ	1 8	9 2
P C C 六星	1 8	5 6
ぴあの	2 3	5 0
ハンドメイド	2 1	1 3 0
親と子の生活訓練	1 1	5 2
5サークル	9 1	3 8 0

③ 青年学級（社会適応訓練）

実施日	主な内容	参加者(人)
5月18日(日)	上野動物園見学	2 5
7月7日(日)	ボウリング大会	2 9
9月7日(土)	映画上映会とアート体験	2 7
11月10日(日)	鉄道博物館見学	2 8
2月15日(土)	埼玉県こども動物自然公園見学	2 3
3月9日(日)	日本科学未来館見学	3 1
合計		1 6 3

④ 機能回復訓練事業

実施日	回数(回)	参加者(人)
月曜日	4 8	2 2 7
金曜日	4 8	2 0 6
週 2 回	9 6	4 3 3

⑤ 送迎サービス（片道を1回とする）

教室名	回数(回)	利用者(人)
生花教室	2 2	3 3
陶芸教室	1 2	2 0
料理教室	2 2	3 6
体操教室	4 3	8 9
みんなの木あそび	1 0	1 0
5 教室	1 0 9	1 8 8

⑥ 消防訓練への参加促進（職員の参加は除く）

訓練日	利用者(人)
9月24日	3
2月3日	4

15 志木市児童センター

16 宗岡子育て支援センター

(こども未来課)

1 事業の概要

志木市児童センターにおいては、児童に健全な遊びを提供してその健康を増進し、情操を豊かにする児童福祉法の規定に基づく目的を達成するための事業を展開した。

宗岡子育て支援センターにおいては、子育て家庭の保護者、乳幼児等に対する支援を行うため、子育て親子の交流の場の提供と交流促進を中心とした事業を展開した。(指定管理者)

2 重点事業(重点事業: **重**)

重 減少した利用者の回復に向けた周知の強化

新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数の回復を目指し、総合福祉センターにおける動画放映や宗岡地区町内会を通じた施設案内チラシ等の配布を行った。また、市内小中学校全児童に向けた児童センターの号外通信の配布や、宗岡地区の保育施設に所属している子育て世帯に向けた宗岡子育て支援センターの施設案内チラシの配布を行い、広報活動の充実を図った。

【志木市児童センター利用状況】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数(人)	45,956	9,335	19,767	22,615	38,803	45,096
利用率	—	20%	43%	49%	84%	98%

【宗岡子育て支援センター利用状況】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数(人)	25,403	6,518	9,782	9,997	16,988	19,830
利用率	—	26%	39%	39%	67%	78%

※利用率は令和元年度を100%として算出

重 地域交流を促進する事業展開

両センターで協働し、施設の特長である広いテラスを利用した「星空えいが会」や、市長を招いてレクリエーションやビンゴを楽しむ「市長とあそぼう!レク&ビンゴ」を実施し、地域交流の場と機会を提供した。

3 主要な施策の成果(志木市児童センター)

(1) 利用状況

開館日数355日

(人)

個人利用者	団体利用者	その他利用者	事業参加者	合 計
27,058	311	475	17,252	45,096
27,844				

(2) 事業実施状況

① 未就学児・保護者対象事業

主な内容	事業数 (件)	参加者 (人)
なかよしランド、児セビクス、ふんすいタイムなど	5 件	2, 6 4 9

② 小学生以上対象事業

主な内容	事業数 (件)	参加者 (人)
クッキング、卓球・ボードゲーム大会など	2 8	1 3, 4 8 9

※クッキング 3回 56人参加

食育を兼ねた身近な食材や季節料理を調理する体験を通じて、食べ物に関する興味関心を持たせ、異年齢の交流を図った。

③ 地域育成事業

主な内容	事業数 (件)	参加者 (人)
サマーコンサート、星空えいが会、こどもマルシェなど	9	6 8 8

※サマーコンサート 184人参加

館内事業所と協働で県立志木高等学校の吹奏楽部による演奏会を開催し、多世代の交流を図った。

④ 相談事業

主な内容	事業数 (件)	相談件数 (件)
子育て相談、こども相談	2	4 2 6

(3) 児童センター運営委員会

1回 8人出席

4 主要な施策の成果（宗岡子育て支援センター）

(1) 利用状況

開館日数 3 5 5 日

(人)

あそびの広場		子育て支援事業・ 相談事業など	合 計
子ども	保護者		
6, 9 1 3	5, 9 4 9	6, 9 6 8	1 9, 8 3 0

(2) 事業実施状況

① あそびの広場

主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
自由遊びや交流の場の提供	3 5 5	1 2, 8 6 2

② 子育て親子交流事業

主な内容	事業数 (件)	参加者 (人)
オンライン講座、対象別広場、誕生日手形など	9	2, 8 6 2

※対象別広場 29回 212人参加

0歳児や父子など対象者を限定した交流の場を提供し、対象に特化した遊びや情報

交換を行った。

③ 子育て支援事業

主な内容	事業数 (件)	参加者 (人)
親子講座、なかよしランド、異文化交流会など	12	2,584

※親子講座 6回 136人参加

年齢に合った内容（手形アート・リトミックなど）を展開し、親子で関わり楽しめる場を提供するとともに、同年齢の子を持つ親子の交流を促進した。

④ 相談事業

ア. 子育て相談 343件

(件)

	睡眠	食事	排泄	発育	発達障がい	育児一般	ストレス虐待	保健	家庭地域	合計
児童	9	28	9	22	54	110	—	27	39	298
大人	—	—	—	—	—	—	8	1	36	45

イ. 専門相談 43回 174件

事業名	回数(回)	相談件数(件)	事業名	回数(回)	相談件数(件)
小児科医師相談	6	26	まんま相談	11	40
歯の健康相談	2	7	出張健康相談	2	24
栄養相談	2	14	巡回発達相談	2	6
おっぱい相談	6	26	子育て応援パートナー	12	31

⑤ 地域育成事業

主な内容	事業数 (件)	参加者 (人)
こどもマルシェ、星空えいが会など	7	652

⑥ 見学者及び赤ちゃんの駅利用者など 353人

5 関連業務（志木市児童センター・宗岡子育て支援センター）

(1) モニタリング調査

- ① 児童センター回答者数 100人
- ② 宗岡子育て支援センター回答者数 102人

(2) 緊急時対策

- ① 職員訓練（地震や火災を想定した保護者への連絡、ケガの場合の救急車による病院搬送など、その場に応じた適切な緊急時対応訓練） 毎月1回 12回実施
- ② ミニミニ避難訓練（利用者とともに、地震や火災、不審者侵入を想定）
4回実施 延べ53人参加

(3) 職員研修

- ① 児童センター 16件 延べ39人参加
- ② 宗岡子育て支援センター 18件 延べ36人参加

17 放課後子ども教室・学童保育クラブ

(こども未来課)

1 事業の概要

市からの委託により、宗岡地区4小学校の全児童を対象に、安心・安全に過ごすことができる放課後の居場所として、学校内や学童保育専用施設で学習を支援するほか、遊び、スポーツ、文化活動等を体験・交流するプログラムを行う「放課後志木っ子タイム事業(全児童を対象とする『放課後子ども教室』と就労家庭等の児童を対象とする『学童保育クラブ』を校内交流型で運営する事業)」を実施した。

2 重点事業及び新規事業(重点事業: **重**、新規事業: **新**)

重 放課後志木っ子タイムフェスの実施

児童が「放課後志木っ子タイムフェス」の企画・運営を行う過程において、主体性及び協調性を高めるとともに、年齢・発達段階に応じた適切な育成支援を行った。また、保護者参加型とし、多世代での地域交流を実現した。

重 体験プログラムの充実

地域住民に「市民先生」として放課後志木っ子タイムの体験プログラムに参画してもらい、新規プログラムを増やし、より一層の充実を図った。

新 回覧板を活用した事業周知

宗岡地区町内会に放課後志木っ子タイム通信の回覧を依頼したほか、SNSを活用して事業内容の紹介を行った。

3 主要な施策の成果

(1) 利用状況

区分	学童保育クラブ		放課後子ども教室	
	開所日数(日)	利用人数(人)	開室日数(日)	利用人数(人)
むねおか	293	7,140	243	9,280
むねに	293	5,725	243	5,913
むねさん	293	6,913	243	7,904
むねよん	293	8,844	243	12,335
合 計		28,622		35,432

(2) 事業実施状況

① 放課後子ども教室

ア. 体験プログラム

主な内容	回数(回)	参加者(人)
市民先生による体験活動の提供	67	917
市民団体等との交流活動	86	4,069

イ．自主学習促進事業

主な内容	回数(回)	参加者 (人)
学習支援	8 5	4, 2 7 9
放課後学習教室	1 0 8	1, 7 6 5
宗岡第二公民館図書室による図書の設置	1 2	—

ウ．地域交流事業

主な内容	回数(回)	参加者 (人)
市内高校生との交流	7	1 7 6
総合福祉センターまつりに参加（作品展示）	1	—
特別養護老人ホームへ制作物のプレゼント	1	—

② 学童保育クラブ（放課後児童健全育成事業）

放課後児童クラブ巡回支援事業を活用し、アドバイザーの派遣を「むねさん」及び「むねよん」で受け、配慮を要する児童の支援方法について学んだ。

③ こども未来課事業（児童センター・宗岡子育て支援センター共催事業への協力）

こどもマルシェ、総合福祉センターまつり「市長とあそぼう！レク&ビンゴ」、各施設における事業のポスター掲示及びチラシ配布

(3) 放課後志木っ子タイム運営委員会

適切な運営と事業活性化のための意見交換を各施設で行った。

(4) 保護者との連携（4施設合同）

- ① 利用満足度アンケート 2 0 2 人回答
- ② 夏休み説明会 1 3 9 人参加
- ③ 放課後志木っ子タイム登録会 9 1 人参加

(5) 緊急時対策

安全計画に基づく必要な訓練を行うとともに、シェイクアウト訓練を月 1 回実施して児童への安全教育を行った。

(6) 職員研修

- ① 放課後児童支援員認定資格研修 3 件 4 人参加
- ② 職員研修 2 9 件 延べ 3 4 6 人参加
- ③ 宗岡地区 4 小学校福祉体験授業
 - ア．アイマスク体験 3 校 延べ 6 人参加
 - イ．車椅子体験 4 校 延べ 4 人参加